

PRESS RELEASE

報道関係者各位

2019年7月30日
野村不動産ホールディングス株式会社
(コード番号：3231 東証第一部)

リリースカテゴリー

都市型コンパクトタウン

都市再生・地方創生

グローバルへの取組み

不動産テック

働き方改革

健康・介護ニーズ

社会課題

定期報告・レポート

2020年3月期 第1四半期連結決算のお知らせ

野村不動産ホールディングス株式会社（本社：東京都新宿区 代表取締役社長：沓掛 英二）は、本日、2020年3月期第1四半期連結決算（2019年4月1日～2019年6月30日）を確定しましたので、お知らせいたします。なお、詳細については、「2020年3月期 第1四半期決算短信」を合わせてご参照下さい。

<サマリー>

■ 2020年3月期第1四半期の連結業績は、売上高1,124億円（前年同四半期比5.4%減）、営業利益60億円（同58.5%減）、事業利益63億円（同57.0%減）、経常利益40億円（同67.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益29億円（同60.5%減）となりました。

※事業利益 = 営業利益 + 持分法投資損益 + 企業買収に伴い発生する無形固定資産の償却費

■ 住宅部門・・・マンションと一戸建を合わせた計上戸数が208戸（前年同四半期比462戸減）となりました。なお今期計上予定物件の多くは、第4四半期に完成・計上される予定です。また、通期の売上計上予定5,100戸に対する当第1四半期末時点での契約進捗率は66.5%となりました。

■ 都市開発部門・・・収益不動産事業における売却収入が増加した一方で、前年同四半期にはテナント退去による精算金等を計上していた影響により、前年同四半期比で増収減益となりました。

■ サービス・マネジメント分野・・・資産運用部門および運営管理部門は堅調に推移しました。仲介・CRE部門は、前年同四半期比で仲介取扱件数・取扱高は増加しましたが、新築受託販売事業における計上戸数の減少および経費の増加により、減収減益となりました。

■ 業績予想・配当予想・・・本年4月に発表した通期の業績予想、及び配当予想に変更はありません。

以上

(添付資料)

[2020年3月期 第1四半期決算短信](#)


[2020年3月期 第1四半期決算短信補足資料](#)

本件に関するお問い合わせ窓口

野村不動産ホールディングス株式会社 コーポレートコミュニケーション部（上羽・金山）

TEL 03-3348-8117 ・ FAX 03-3343-0445

あしたを、つなぐ

 野村不動産グループ